



美木中だより 2月号

学校教育目標
美しい木々が健やかに育つ学校
「自律・挑戦・創造・人間性・協栄」

平成31年2月5日
発行
尾道市立美木中学校

君たちはどう生きるか

1月18日(金)、尾道グローバルラボ代表 黒飛貴友様、尾道市議会議員 二宮 仁様をはじめ、多くのご来賓のご臨席を賜り、「平成30年度立志式」を挙行了しました。

黒飛様からは、世界を回られたご自身の体験に基づく視点から、様々なことに挑戦することの大切さや勉強の持つ意味や意義、人生観等について貴重なご示唆をいただきました。

生徒会長 高橋佑輔君の誓いの言葉を紹介します。

「平成30年度『美木中学校 立志式』にあたり、2年生55名を代表し、次のことを宣誓します。

私たちは55名は、本日多くのご来賓の方々をお迎えし、たくさんの方々に見守られ、この晴れの日を迎えることが出来ました。これまでの諸先輩方が築いてこられた伝統の上に、今、新たな一步を踏み出そうとしています。

私たちは、入学と同時に模擬会社MNCの社員となり企画・運営に携わってきました。一人一人が美木中学校の生徒であると言うことを強く自覚し、多くの方々に支えていただきながら、地域に根ざした学校づくりに取り組んでまいりました。これからも、風光明媚で歴史ある尾道に生まれたことを誇りに思い、『地域を元気にする』という強い志を持って、ふるさと尾道、そして美木中学校の発展に努めていくことをお約束します。

最後に、本日、私たちのためにこのような立志の場を設けてくださった、全ての皆様に心から感謝いたします。今後とも私たちを温かく見守り、時には、厳しくご指導くださることをお願いし、誓いの言葉といたします。

平成31年1月18日 尾道市立美木中学校 2年生代表 高橋 佑輔



次に、3名が発表した志宣言を紹介します。

【2年1組 大門彩花】

「みなさんは将来どうするか決めていますか。私は今のところ、水族館か動物園で働きたいと思っています。そう思った理由は二つあります。

一つ目は、私が昔から生き物が好きだったからです。好きになったきっかけは、小さい頃動物とふれあえる所に行ったことです。そこには犬やうさぎなどがたくさんいました。最初は怖かったのですが、何度か触っているうちに、かわいいなと思うようになりました。

二つ目は、私が飼っていた犬が死んでしまったことが関係しています。私が飼っていた犬は「ここあ」という名前でした。私はここあが大好きでした。でも、水を替えていたくらいで、あとは父や母がやってくれていました。ここあが死んでしまっ、私はすごく後悔しました。もっと散歩に連れていったり、体も洗ったりしてあげていればよかったとすごく思いました。でも、もうここあはいません。だから、ここあにしてあげられなかった分、他の動物たちにしようと思いました。

水族館や動物園で働くにはいろんな資格などが必要かもしれないけど、私は本当に生き物が大好きなので、自分の夢を叶えられるようたくさん勉強して、頑張っ資格をとりたいと思います。」



【2年2組 豊岡琉星】

「僕が大工になると決めたのは、小学校六年生の時のことです。家の近くで、家を建てているのを見て、みんなが声をかけ合っている姿に憧れました。

僕は、小さいころから何か作るのが得意でした。だから、このことを生かして大工になろうと思いました。

さらに、僕は大工がどんな仕事をするのかを知る機会がありました。それは、おじが大工であるということです。おじが家に来たときには、大工の仕事や大工に必要なことをたくさん聞きました。聞いているうちに、『大工の仕事を早くやってみたい』と心から思うようになりました。

しかし、今の自分は、途中であきらめたり、集中力が続かなかったりすることがあります。大工になるためには、このようなことは決してあってはいけません。だから、これまでの自分の行いを振り返り、何事も最後まで集中してやりとげたいと思います。

そして、将来は大工になり、多くの人の理想の家を創りあげたいです。相手も自分も笑顔になれる大工を目指したいです。」



【2年2組 大池絢菜】

「私にはまだ、将来の夢がありませんでした。しかし、保育園へ職場体験に行き、『保育士になりたい』と思うようになりました。そこには、感動する場面やもらった元気があったからです。また、子ども達が話しかけてくれたり、楽しそうにしたりしているのを見て、『頑張ろう』と思ったからです。そして、先生方が子ども達のことを考えながら行動をしていて、相手を思い理解していることがすごいと思い憧れたからです。そこで、『保育士になる』と決めました。

職場体験では、0歳から3歳の子どもの世話をさせてもらいました。そこでは、ご飯を食べさせてあげたり、寝かしつけてあげたりなどたくさんの体験をさせてもらいました。そのうちに、話しかけてくれたり、私の所に来てくれたりしたので嬉しかったです。しかし、言うことを聞いてくれない子どももいました。そんな時、先生方は、子どもに対して、言葉を交わしながら伝わるまで丁寧に接していて、『すごいな』と心に響きました。

この夢を実現するためには、私自身が変わらないといけません。私は、自分の気持ちをあまり人に言うことができません。相手の思いを察しながら意見を伝える事もできません。相手が嫌な思いをするのではないかと遠慮してしまうからです。今の自分では、自分のためにもならないし、子ども達のためにもなりません。だからこれまでの自分の行いを振り返り、今後は自分の言葉で考えや思いを伝えるように決意します。保育士になるという目標を持つということは、私が変われるチャンスだと思います。相手の気持ちを考えて行動し、何事にもチャレンジしていきます。そして、嫌な事があっても逃げ出さず、諦めず自分のためだと思い、最後まで頑張っていきたいです。そして、子ども達を幸せにしていき、みんなが憧れるような保育士になりたいです。」

多くのご来賓、保護者の皆様に見守られながら、自分の言葉で堂々と発表ができました。これからの人生で困難にぶつかっても、この夢や志に向かって未来を切り拓くと信じています。



「いつでも気軽に相談してください」

体罰、いじめ、セクシャル・ハラスメント相談窓口

【相談内容】 ・教職員からの体罰やセクシャル・ハラスメントについて ・いじめについて

【相談窓口】 村上 正子 教頭 藤井 陽一 教諭 谷原 徹也 教諭
奥重 雅子 教諭 山本 尚美 養護教諭

【連絡先】 尾道市立美木中学校 TEL 48-0515 FAX 48-5060